

RE:WEARプロジェクト ～みんなでもっとSDGs！～

－こども服リユースの取組み－

主任研究員 嶋田 英岳

はじめに

熊本連携中枢都市圏の市町村[※]では、様々な連携事業に取り組んでいます。その取組みのひとつとして、圏域住民の方へのSDGsの普及啓発を行っています。本稿では、多くの圏域住民の方に、SDGsやその取組みを知っていただき、行動を起こすきっかけとなることを目的とした普及啓発の取組みをご紹介します。

※熊本市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、美里町、玉東町、大津町、菊陽町、高森町、西原村、南阿蘇村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町

1 「RKKまつり2024」でこども服の無料配布を実施

令和6年（2024年）10月5日（土）、6日（日）に熊本市中央区の花畑広場一帯で開催された「RKKまつり2024」へ『RE:WEARプロジェクト～みんなでもっとSDGs！～』と題し、サイズが合わなくなり自宅で着られなくなったこども服を無料配布しました。こども服回収には、熊本連携中枢都市圏の市町村や熊本市立保育園・幼稚園、アデル・カーズ株式会社にご協力いただきました。

あわせて、国連広報センター作成の「持続可能な社会のために、ナマケモノにもできるアクションガイド」やJICA作成のSDGsサイコロなどを配布することで、SDGsの理念や具体的な行動を考えるきっかけにさせていただくことができました。

参加者からは「大変助かる」、「今回もらったこども服を大切に使いたい」、「SDGsをもっと勉強したい」などのご意見をいただきました。

ご協力いただきました皆様、ブースにお越しいただいた皆様、ありがとうございました。

以降は会員専用ページにて公開しております。

こども服無料配布の様子

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)